

国営木曽三川公園 整備・管理運営プログラム

[参考資料]

目 次

1. はじめに	1
2. これまでの成果と今後の重点的な取り組み	3
3. 整備・管理運営の重点事項	4
4. 各拠点の整備・管理運営方針	6
(1) 三派川地区	6
(2) 中央水郷地区	11
(3) 河口地区	20
5. ネットワーク形成のための整備・管理運営方針	22
6. 事業効果	23

平成29年3月

国土交通省中部地方整備局

1. はじめに

国営木曽三川公園は、木曽川・長良川・揖斐川の木曽三川が有する広大なオープンスペースと豊かな自然環境を活用し、東海地方の人々のレクリエーション需要の増大と多様化に応えるために設置された公園です。川や流域のもつ魅力である自然環境や歴史文化そして広域的な広がり・つながりをいかしながら、これらを守り・感じ・楽しみ・学ぶ場として整備を進めています。

本公園は三派川地区・中央水郷地区・河口地区の3地区（計画面積約6,100ha）からなり、13拠点（約287.7ha）が開園しています。平成27年度には、年間約1,000万人に来園いただきました。

この整備・管理運営プログラムは、社会資本整備重点計画の計画期間にあわせて、国営木曽三川公園の平成28～32年度までの整備及び管理運営に関する重点事項などを策定し公表するものです。

なお、本プログラムは今後の社会情勢等を踏まえ、必要に応じて見直していきます。

基本理念（国営木曽三川公園基本計画（平成20年12月改定））

【国営木曽三川公園が目指すもの】

①自然環境への理解

- 河川管理者等との連携により河川特有の自然環境や生物多様性の保全・再生に努めます。
- 人々が木曽三川の豊かな自然や長大な河川空間を体験し、川や環境について学ぶための取り組みを進めます。
- 木曽三川の自然を活かした遊びやスポーツなど、国営木曽三川公園ならではの屋外活動の場を提供します。

②歴史文化への理解

- 木曽三川にまつわる歴史文化やその周辺環境について河川管理者や沿川自治体と連携して保全・活用します。
- 木曽三川の歴史文化や川と人との関わり大切さを学ぶための取り組みを進めます。

③広域への貢献

- 木曽三川全体の自然環境の連続性を確保するとともに、長大な河川空間を楽しめるよう、木曽三川全体をつなぐ利用空間の形成を図ります。また、周辺地域の自然環境や歴史文化資源との接続・連携を図り、観光周遊のネットワークや中部圏の骨格的な水と緑のネットワークの形成に寄与します。
- わが国を代表する広大な河川空間や豊かな流域の歴史文化など木曽三川ならではの資源を活用して人々の広域的な交流を促進し、にぎわいを創出するとともに、内外に情報発信していきます。
- 地域の防災への協力や広域的な防災に資する対応を進めます。

計画面積（都市計画決定面積）、事業承認面積、供用面積

（単位：ha）

地区名	計画面積(都市計画決定面積)				事業承認面積	供用面積
	堤内地	堤外地		計		
		高水敷	水面			
三 派 川 地 区	64.5	1,006.4	1,371.0	2,441.9	163.9	107.8
中央水郷地区	80.6	803.1	2,752.0	3,635.7	300.0	179.1
河 口 地 区	2.2	7.4	0.0	9.6※	9.6	0.8
計	147.3	1,816.9	4,123.0	6,087.2	473.5	287.7

※河口地区は、桑名七里の渡し公園のみの面積。
（平成28年3月末現在）

【取り組みを進めるために】

A. より多くの人が、より楽しむ（レクリエーションの視点）

- より多くの人々が集う場となるよう利用者サービスやレクリエーション内容の向上、充実を図ります。
- 広域交流や楽しみながら木曽三川の豊かな自然や歴史文化に触れるきっかけを提供します。
- 誰もが安心して楽しめるよう、利用者の安全確保とユニバーサルデザインに努めます。

B. より深め、より広げる（参加と連携の視点）

- 木曽三川の自然環境、歴史文化に対する理解を深めるためプログラムの開発提供、指導者の育成などを図ります。
- 市民、NPO、企業、自治体など多様な主体の参加と協働を促進します。
- 沿川地域のまちづくりなどと連携した取り組みを進めます。
- 公園の整備運営のモデルとなる取り組みを進めます。

拠点位置図

中央水郷地区

岐阜県
海津市
愛西市
三重県
桑名市
伊勢市
木曽町

桜堤サブセンター・木曽長良背割堤
長良川30.2km
木曽川129.0km
アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道
海津橋 (県道古中島安田線)
木曽三川公園センター
船頭平河川公園
伊勢大橋 (国道1号)
尾張大橋 (国道1号)
桑名七里の渡し公園
伊勢湾岸自動車道
国道1号

長良川サービスセンター
東海広場・瀬戸川
カルチャービレッジ

三派川地区

河川環境楽園 (木曽川水園)
かさだ広場・各務原アウトドアフィールド
高山本線
東海北陸自動車道
各務原市
犬山頭首工 (ライン大橋)
扶桑町
犬山市

138タワーパーク
フラワーパーク江南
江南市

名神高速道路
東海道本線
東海道新幹線
稲沢市
一宮市

河口地区

愛知県

● 拠点
● 各地区の総合拠点

0 5 10km

入国者数の推移

入園者数(万人)

桑名
桜堤
フラワー
河川
138
かささぎ
船頭
長良
ワイ
カル
アクア
東海
木曽

木曽三川公園センター開園
かさだ広場開園
東海広場開園
長良川サービスセンター開園
河川環境楽園(木曽川水園)開園
ワイルドネイチャープラザ開園
カルチャービレッジ開園
138タワーパーク開園
アクアワールド水郷パークセンター開園
各務原アウトドアフィールド開園
船頭平河川公園開園
フラワーパーク江南開園
桑名七里の渡し公園開園
桜堤サブセンター開園

S62 S63 H1 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24 H25 H26 H27 (年度)

地区	拠点名	開園年月	供用面積
三派川地区	フラワーパーク江南	H19.10	12.9ha
	かさだ広場 ・各務原アウトドアフィールド	S63.7 H17.3	11.3ha 23.5ha
	河川環境楽園(木曽川水園)	H11.7	33.7ha
	138タワーパーク	H7.4	26.4ha
中央水郷地区	ワイルドネイチャープラザ	H8.8	26.7ha
	桜堤サブセンター ・木曽長良背割堤	H27.3 —	7.5ha —
	長良川サービスセンター	H12.10	88.8ha
	アクアワールド水郷パークセンター ・大江緑道	H4.4 —	8.1ha —
	木曽三川公園センター	S62.10	11.0ha
	東海広場 ・鵜戸川	H2.4 —	20.1ha —
	船頭平河川公園	H14.4	2.7ha
	カルチャービレッジ	H8.5	14.2ha
河口地区	桑名七里の渡し公園	H27.11	0.8ha
合計			287.7ha

2

2. 今後の重点的な取り組み

①木曽三川の特色をいかした整備・管理運営を進める

国営木曽三川公園は、濃尾平野のほぼ中央を貫いて流れる木曽川・長良川・揖斐川の木曽三川を基盤とする河川公園です。

今後も引き続き、国営木曽三川基本計画（以下「基本計画」という。）に基づきながら“選択と集中”により計画・整備・管理運営の各段階において河川とのつながり、拠点間のつながり、地域との連携を重視し、拠点の魅力の向上を図りながら、一体感のある公園づくりに重点的に取り組みます。そのことにより、人と自然の共生、水と緑のネットワーク形成をはじめとした環境問題への取り組み、快適な暮らしと生活環境の確保、良好なランドスケープ、交流・文化・産業をはぐくむ地域づくり、歴史資源を活かした生涯学習への寄与など多方面での効果を追求します。

1)水辺の自然環境をいかす

木曽三川固有の河川環境・生物多様性の保全・再生に留意しながら、水辺に近づく場所や川の雄大な景観を楽しめる場の提供など、川の魅力を感じていただくための取り組みを進めます。

また、環境教育プログラムの充実や適正な利用の誘導、きめ細かい環境管理など国営公園ならではの高度な管理運営を行うことで、河川環境の利用及び保全・再生に資する取り組みを進めます。



豊かな水辺環境が残るケレップ水制
(桜堤サブセンター・木曽長良背割堤の計画地)

2)歴史文化資源をいかす

木曽三川固有の資源としての歴史・文化等をいかしつつ、周辺のまちや地域資源と国営公園を結ぶ機能の拡充、インバウンド向けサービスの向上など、さらに個性的で魅力あふれる拠点の整備・管理運営を進めます。

3)スポーツの振興を図る

国営木曽三川公園固有の広大な水面と河川敷を活かした水上スポーツ等の拠点としての機能をいかしつつ、地域の方々と連携したスポーツ振興の取り組みを進めます。

4)地域と連携し、ひとつの公園としての一体感を創出する

広い範囲に拠点が存在する特色をいかして、ひとつの公園としてより高い効果を発揮するため、複数の拠点が連携した取り組みを推進します。

また、広域レクリエーションの充実、観光・周遊ネットワークの形成、地場産品の活用など地域の活性化に資するよう、周辺のまちづくり・公園や緑地、地域の方々と連携した取り組み・人材育成等を進めます。

さらに地域の防災・減災による災害に強い地域づくりにも寄与できるよう、関係機関との連携を図り、災害協力として、地域防災計画における、広域避難地や一次避難地として利用できるように取り組みを進めます。

②未供用区域の早期開園をめざし整備を進める

未供用区域について、コスト縮減を図りつつ、早期開園を目指して整備を推進します。

③より安全快適な施設整備・再整備を進める

外国人を含む、すべての方に安全・快適に公園を利用していただけるよう、既存ストックの機能の検証や必要な改修、より高い水準のユニバーサルデザイン化など、長寿命化の観点で計画的な維持管理と施設の再整備を進めます。また、子育て支援や高齢化社会、インバウンド促進に対応した整備に取り組みます。

④効率的・経済的な整備・管理運営を進める

今後とも利用者の皆様に満足していただけるよう、公園施設・サービスの維持・向上を図りつつ、効率的・経済的な整備・管理運営に努めます。更に、民間事業者との連携等により魅力の向上に努めます。

3. 整備及び管理運営の重点事項

川に親しみ学ぶ場や歴史文化に触れることのできる場を提供し、地域の観光資源としての魅力の向上を図ります

- 河川特有の自然環境の保全・再生、水と緑のネットワークの形成を図りながら、良好なランドスケープを育み、川に親しみ、遊び、憩うことのできる公園を整備します。
- 歴史文化遺産に触れることや歴史学習の拠点として「桜堤サブセンター・木曽長良背割堤」「桑名七里の渡し公園」「アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道」の整備を進め、公園機能の拡充を図ります。
- 木曽三川をフィールドとした環境教育プログラムの充実に努め、様々な環境問題、人と自然の共生への啓発を進めるとともに、観光資源としての魅力の向上に努めます。
- 木曽三川にまつわる歴史文化を活用した学習機会、インバウンド対応等の充実に努め、個性的で魅力あふれる地域づくり・活性化に寄与します。



地元留学生を対象にした
SNS発信ツアー
(木曽三川公園センター)

沿川自治体や河川管理者と連携した取り組みを進めます

- 市民交流や観光の拠点として地域の活性化に貢献できるよう、集客力と情報発信力の向上に努めます。
- 沿川自治体や河川管理者と連携しながら、木曽三川沿いのサイクリングロード・遊歩道のネットワーク化やスポーツ・レクリエーションイベントの充実に取り組みます。



チューリップ祭り
(木曽三川公園センター)

利用者や市民団体・NPO、民間企業とともに、計画・整備の検討、管理運営を行います

- NPOやボランティアの方々との協働により、環境教育プログラムの充実や指導者育成、花木草の維持管理などを行います。
- 市民の方々との協働・連携を進めるにあたり、計画や整備・管理運営の意見交換を進めます。
- 民間企業等と連携した利用者の利便性の向上、公園の管理運営の質の向上を図ります。



ボランティアによる活動
(フラワーパーク江南)

安全・快適に利用いただける施設とサービスを提供するとともに、周辺自治体と連携した拠点間ネットワークの強化、災害時に避難地や防災拠点として機能するよう備えます

- 外国人を含む、すべての方に安心・安全に公園を利用していただけるよう、より高い水準のユニバーサルデザイン化、子育て支援や高齢化社会、インバウンド促進に対応した整備を進めます。
- 障がいのある方や高齢者、小さなお子様連れの方も楽しめるスポーツ・レクリエーションの充実に努めます。
- 施設整備にあわせ案内サイン等のデザインの統一及び多言語化を図るとともに、情報発信のためのWi-Fi環境の整備等を行います。
- 誰もが安心して使える安全で清潔なトイレや授乳スペース等の公共の空間づくりを行います。
- 沿川自治体とのネットワーク協議会等において、公園づくり・地域づくりの方向性を共有しながら沿川自治体や河川管理者と連携したサイクリングロードの整備により拠点間のネットワークを強化し、広域交流を促進します。
- 広域避難地や一次避難地としての機能を発揮できるよう、施設整備や耐震化、自治体との連携体制の確立を図り、地域の防災・減災に貢献します。



障がいのある方をはじめ誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーションの充実（長良川サービスセンター）

既存施設の適切な修繕・再整備、効率的・経済的な維持管理を行います

- 整備後、年数が経過し、老朽化が進んでいる施設等については、長寿命化の観点による適切な修繕・リニューアル（内容の更新）や効率的・経済的な維持管理により、ライフサイクルコストの縮減を図りつつ、ストック効果が発揮できるように努めます。
- 植栽については、主要な拠点の特性に応じた管理方針や目標を設定し、緑の質の確保と良好な景観形成が実現できるよう、中長期的な視点で適切な維持管理を行うとともに、管理のための人材を育成していきます。

リサイクル・省資源に配慮した管理運営を行います

- 園内で発生する剪定枝等の堆肥化や整備工事による伐採木の無料配布、雨水の再利用、河川整備で発生する残土利用など、資源の有効利用とコスト縮減に努め、循環型社会の形成に寄与します



堆肥化施設
（フラワーパーク江南）

4. 各拠点の整備・管理運営方針

(1) 三派川地区

三派川地区は、木曽川河口から約57km地点から犬山頭首工までの延長約28km、計画面積約2,442haの地区です。地区の中央部では、木曽川が北派川、本川、南派川の3つの流れに分流しています。

この地区では、砂礫河原、ワンド、樹林地など変化に富んだ自然環境がみられます。また、猿尾堤など江戸期の治水事業の跡が残るほか、木材などの物資輸送の中継基地であった川湊や渡し跡が分布していることも特徴です。

取り組み方針(国営木曽三川公園基本計画(平成20年12月改定))

<自然環境>

河原などの多様な自然とのふれあいを通じた川や身近な自然への理解

<歴史文化>

近世の木曽川の利用・治水と沿川地域の発展の歴史の理解

<広域貢献>

花とみどりを通じた人々の交流とにぎわいの創出と、広大な河川空間を活かした健康づくり

①フラワーパーク江南は着手しているⅡ期エリアの一部の早期開園を目指し、かさだ広場・各務原アウトドアフィールドでは未開園区域の整備推進に向けた検討を進めます。また、老朽化した施設の再整備等により魅力の向上を図ります。

②沿川自治体や河川管理者と連携しながら、サイクリングロード・遊歩道のネットワーク化、レンタサイクルの運営やスポーツ・レクリエーションイベントの充実に取り組み、利用促進を図ります。また、NPOやボランティアの方々との協働により環境教育プログラムの充実を図ります。

③堆肥化施設の運用などにより、リサイクル・省資源に配慮した管理運営を行います。



最上流部(下流より望む)



最上流部(上流より望む)

[三派川地区] フラワーパーク江南

【方針】
整備：里山景観をイメージしたⅡ期エリアの整備を進めます。
管理運営：環境教育プログラム・五感で楽しめる園芸の充実を図ります。

愛知県江南市
事業着手年度：平成15年度
供用開始年月：平成19年10月
事業承認面積：38.9ha
供用面積：12.9ha

『花とみどりの学習』暮らしの中での自然とのふれあい
都市緑化の学習拠点をめざして平成19年10月に開園しました。暮らしの中に花やみどりを取り入れ、身近な自然にふれる場となるよう、様々な生活場面に応じた緑化・花卉修景を進めています。平成24年度の堆肥化施設整備をもってⅠ期エリア整備を完了し、ボランティアとの協働による花壇管理やイベント運営を進めています。



■主な供用施設



事業効果：地域特有の自然環境、生物の生息・生育環境が保全されます。 ○環境学習機能が充実します。 ○ユニバーサルデザイン化が促進します。

整備・管理運営方針：
(整備) ○Ⅱ期エリア一部の早期追加開園を目指します。
(管理運営) ○植栽の適切な管理により緑の質を確保します。
○環境教育プログラム・五感で楽しめる園芸の充実を図ります。

整備：
○Ⅱ期エリア（故郷の森）の整備
整備イメージ



森の観察路

管理運営：
○環境教育プログラム・五感で楽しめる園芸の充実



森の環境学習



香りの庭・果実の庭



収穫体験



メイン花壇



熱帯性スイレン展

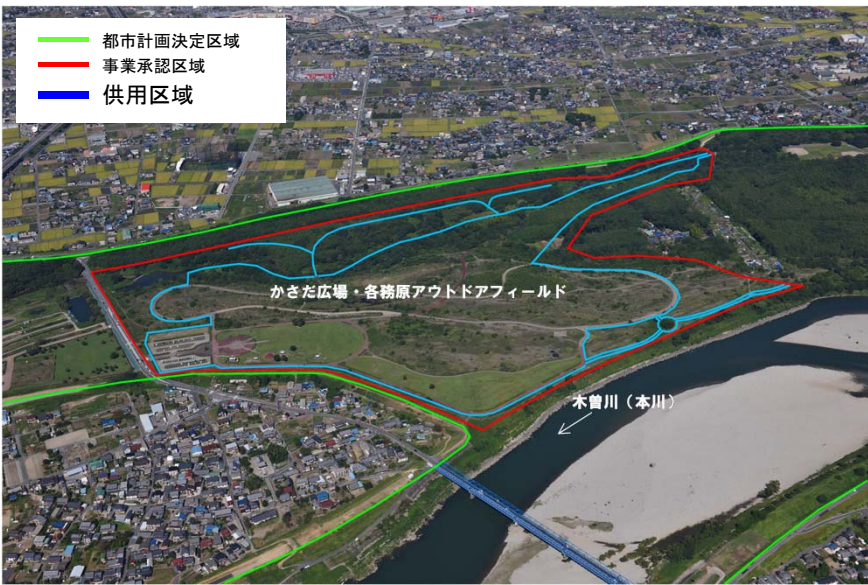
[三派川地区]かさだ広場・各務原アウトドアフィールド

- 【方 針】
- 整備：未開園区域の整備推進に向けた検討を進めます。
- 管理運営：市民と協働による環境保全を推進します。
- 地域と連携したイベントを開催して利用促進を図ります。

『河川の広大な空間と豊かな自然』

河川特有の自然環境の保全・再生と自然を活かした健康増進

河川特有の自然環境（カワラサイコ・カワラヨモギ等が生息）を保全・再生しながら、広大な空間と豊かな自然の中で健康づくりやレクリエーション、自然散策などが楽しめる場となるよう整備を進めています。また、市民の方々や研究機関などの協力を得ながら、竹林の活用や外来生物対策などに取り組んでいます。



■主な供用施設



岐阜県各務原市

事業着手年度：昭和63年度（かさだ）平成13年度（各務原）

事業承認面積：11.4ha（かさだ）43.1ha（各務原）

供用開始年月：昭和63年7月（かさだ）平成17年3月（各務原）

供用面積：11.3ha（かさだ）23.5ha（各務原）

- 整備・管理運営方針：
- （整備）○未開園区域の整備推進に向けた検討を進めます。
- 老朽化した施設の再整備により魅力の向上を図ります。
- （管理運営）○市民との協働プログラムにより自然環境の保全を推進します。
- 地域と連携したイベントを開催して利用促進を図ります。

- 整備：
- 未開園区域の整備推進に向けた検討
- 老朽化施設の再整備
- 管理運営：
- 竹林の活用と外来生物対策など、市民との協働による河川特有の自然環境の保全の推進



市民協働による外来生物対策

- 地域と連携して、広大な敷地を活かした誰でも参加できるスポーツ・レクリエーションイベントの開催による利用促進



スポーツ・レクリエーションイベント

事業効果：○外来種対策などの取組みにより、生物多様性への貢献と学習機能が充実します。

○老朽化施設の再整備による魅力の向上、自然環境をいかした様々なスポーツ・レクリエーションイベントの実施により利用者満足度が向上します。

[三派川地区]河川環境楽園（木曽川水園）

【方針】

整備：園路等の再整備により防災機能を拡充し地域に貢献します。
管理運営：地域の自然や歴史を活かした環境学習の充実を図ります。

岐阜県各務原市・羽島郡笠松町
事業着手年度：平成7年度 事業承認面積：41.9ha
供用開始年月：平成11年7月 供用面積：33.7ha

河川環境楽園のテーマ 『川の自然と文化の環境共生型テーマパーク』
(木曽川水園の役割：木曽川が育んだ自然や風土・文化を遊びながら学ぶ)

「木曽川水園」では、木曽川の雄大な景観を楽しめる遊歩道・サイクリングロードの整備、また、隣接する研究施設やNPOと協働・連携しながら、環境教育プログラムの提供や指導者育成に取り組んでいます。



■主な供用施設



木曽川水園(上流部)



木曽川水園(下流部)



木曽川水園(農家と河原)

整備・管理運営方針：
(整備) ○老朽化した施設や園路等の再整備により、魅力の向上と沿川まちづくりとの連携を図ります
(管理運営) ○植栽の適切な管理により緑の質を確保します。
○地域の自然や歴史をいかした環境学習の充実を図ります。

整備：
○老朽化した施設や園路等の再整備



管理施設(橋梁)



遊歩道・サイクリングロード
(イメージ)

管理運営：
○植栽の適切な管理により緑の質の確保
○環境教育プログラムの充実(地域の自然や歴史を活用)



環境学習活動

事業効果：○隣接公園との一体利用や周辺サイクリングロードとの接続(ネットワーク化)、利用促進により、地域の活性化に貢献します。
○風土・文化をいかした環境教育プログラムが充実することで、河川環境への理解が深まります。

[三派川地区] 138タワーパーク

【方針】

整備：既存施設のユニバーサルデザイン化を図ります。

管理運営：河畔林や歴史文化資源と連携した環境学習に取り組みます。

愛知県一宮市

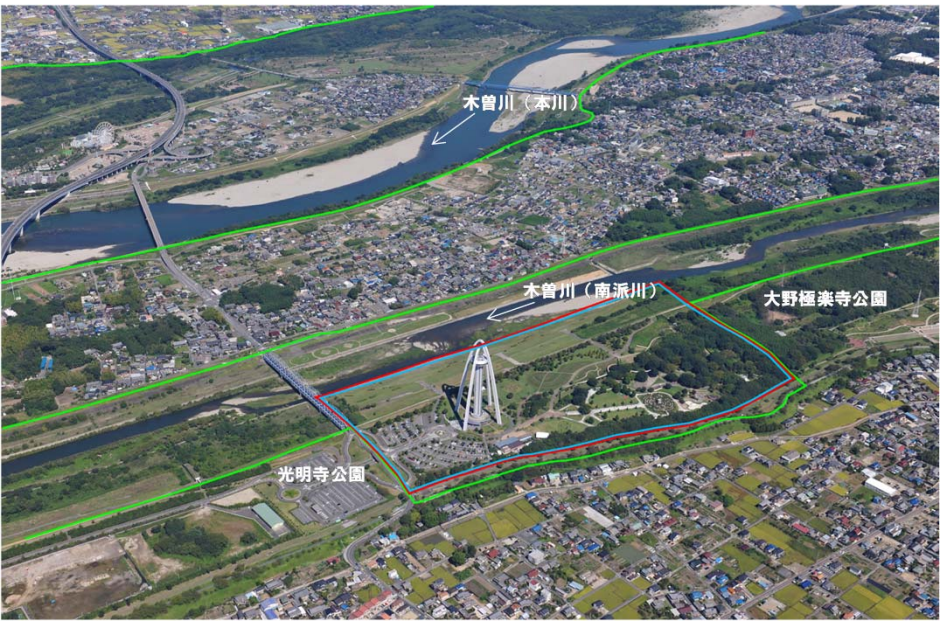
事業着手年度：昭和62年度 事業承認面積：26.4ha

供用開始年月：平成7年4月 供用面積：26.4ha

『三派川地区の総合拠点』 三派川地区の自然、歴史文化、交流

三派川地区の自然や歴史文化を幅広く紹介・情報発信するとともに、多くの人々が集い、交流する総合拠点として位置づけています。

木曽川の雄大な流れを眺望できる「ツインアーチ138」をはじめ、大規模でユニークな施設を整備し、平成26年4月に全面開園しました。また、花のイベントやイルミネーションなど年間を通じて様々なイベントを開催しています。



■主な供用施設など



事業効果：○ユニバーサルデザイン化が促進されます。

○サイクリングネットワークが拡充することで、観光振興やにぎわいの創出につながり地域活性化に貢献します。

整備・管理運営方針：

(整備) ○既存施設のユニバーサルデザイン化を図ります。

○サイクリングネットワークの総合拠点としての機能を強化していきます。

整備：

○既存施設のユニバーサルデザイン化

○サイクリングネットワークの総合拠点としての機能強化



(2) 中央水郷地区

中央水郷地区は、木曽川、長良川、揖斐川の木曽三川が接する地点を中心に、南北約20km、計画面積約3,637haに及ぶ本公園で最も大きな面積をもつ地区です。

この地区では、ワンド、ヨシ原、干潟、河川砂丘など多様な水辺がみられます。また、宝暦治水や明治改修などの治水事業の遺産が各所にみられ、水郷地帯特有の景観や生活文化が感じられることも特徴です。

取り組み方針(国営木曽三川公園基本計画(平成20年12月改定))

<自然環境>

水辺の体験を通じた川への理解

<歴史文化>

川と闘い川と調和してきた水郷地帯の人々の歴史と文化の理解

<広域貢献>

花とみどり、スポーツ、文化活動を通じた人々の交流とにぎわいの創出と、福祉の推進

①水辺の自然環境や水郷景観に親しみ、治水事業の歴史を学ぶ場として、桜堤サブセンター・木曽長良背割堤、大江緑道、鵜戸川の計画検討や整備を市民の方々と協働で進めます。

また、開園している区域では、施設の適正な修繕・リニューアル、計画的な維持管理を行います。

②周辺自治体や様々な団体と連携したスポーツ・レクリエーションイベントの開催などにより、利用促進を図ります。

また、NPOやボランティアの方々との協働による河川環境の保全・再生、歴史文化資源の活用、環境学習の充実を図ります。

③周辺地域との一体的な利用の促進に向けて、アクセス道路の計画的な整備、交通アクセスに配慮した運営、サイクリングロードのネットワーク化などを図ります。



[中央水郷地区] **ワイルドネイチャープラザ（サリオパーク祖父江）**

【方 針】

整 備：沿川まちづくりとの連携、未開園区域の整備を進めます。

管理運営：祖父江砂丘のさらなる保全・再生、利用促進を図ります。

愛知県稲沢市

事業着手年度：平成7年度 事業承認面積：31.5ha

供用開始年月：平成8年8月 供用面積：26.7ha

『祖父江砂丘の保全と活用』 木曽川特有の河岸砂丘の保全と砂丘をいかした水辺のレクリエーション

木曽川特有の河岸砂丘である「祖父江砂丘」を活かし、ウィンドサーフィン等の水辺レクリエーションが楽しめるように、水辺に近づきやすい川岸やトイレ・シャワー、バーベキューが楽しめるピクニック広場・デイキャンプ場などを整備しています。



■ **主な供用施設**



水辺レクリエーション



ピクニック広場



河岸砂丘



年間を通した砂丘の利用



周辺施設

市営祖父江ワイルドネイチャー緑地

県営木曽川祖父江緑地

祖父江ワイルドネイチャー緑地

整備・管理運営方針：

(整備) ○沿川まちづくりと連携を進めるとともに、未開園区域の整備推進に向けた検討を進めます。
○河岸砂丘を学習する拠点施設を検討します。

(管理運営) ○祖父江砂丘のさらなる保全・再生を推進します。
○周辺施設や協力団体と連携し、年間を通した利用促進を図ります。

整 備：

- 沿川まちづくりとの連携
- 未開園区域の整備推進に向けた検討
- 河岸砂丘を学習する拠点施設の検討



砂丘を学習するイベント

管理運営：

- 祖父江砂丘のさらなる保全、再生活動
- 周辺施設や協力団体との連携による、年間を通した利用促進

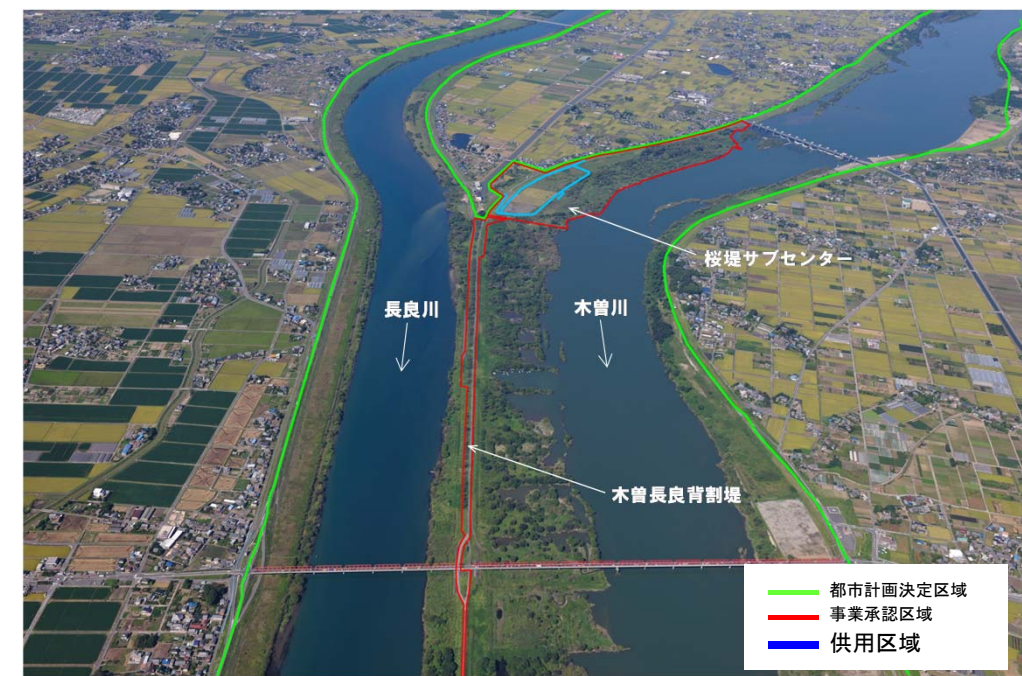
事業効果：○貴重な河岸砂丘が保全・再生され、活用の推進により屋外レクリエーション機能が充実します。
○周辺サイクリングロードとの接続（ネットワーク化）、利用促進により地域活性化に貢献します。

[中央水郷地区] 桜堤サブセンター・木曽長良背割堤

【方針】
整備：桜堤サブセンター（堤内エリア）の工事に着手します。
管理運営：歴史的な治水施設の活用と河川環境の保全を検討します。

岐阜県羽島市 桜堤サブセンター
事業着手年度：平成19年度 事業承認面積：48.4ha
供用開始年月：7.5ha
岐阜県海津市・愛知県愛西市 木曽長良背割堤
事業着手年度：未着手 事業承認面積：21.2ha

『背割堤周辺の自然と歴史』 木曽三川の水辺と歴史遺産の実体験
ワンドやオギ原、ヤナギ林など木曽長良背割堤に残る豊かな水辺環境の保全と、ケレップ水制や桜並木などの歴史遺産に触れることができる場となることをめざし、平成19年度より高水敷エリア整備に着手し、平成27年3月に開園しました。



■主な供用施設



桜堤サブセンター（高水敷エリア）

整備・管理運営方針：
（整備）○桜堤サブセンター（堤内エリア）の工事に着手します。
（管理運営）○歴史的な治水施設の活用と河川環境の保全を検討します。

整備：
○自然環境に親しみ、歴史的な治水施設を学ぶ場となる桜堤サブセンター（堤内地）の工事着手



さくらまつり



桜堤サブセンター（堤内地エリア）整備イメージ

管理運営：
○未供用区域のイベントでの活用（背割堤マラソン等）
○歴史的な治水施設の活用



歴史文化資源の活用（ケレップ水制※）



桜並木（木曽長良背割堤）



多様な河川環境の保全（ワンド等※）

○河川環境の保全
河川管理者の協力のもと桜並木の保全に取り組みます

※ケレップとはオランダ語で水制のこと。粗朶と土・石で作られた水制で、デ・レーケなどのオランダ人技術者によって我が国に導入された。
※ワンドとは、河川敷にできた池状の入り江のこと。

事業効果：○木曽三川特有の自然環境・歴史文化的への理解が増進されます。

[中央水郷地区] 長良川サービスセンター

【方針】

管理運営：水辺を活かしたスポーツ・レクリエーション拠点として一層の利用促進を図ります。

『水上スポーツ』

競技スポーツから障がい者スポーツ・レクリエーションまで、長大な水面と河川敷を活かした高度なスポーツ・レクリエーション

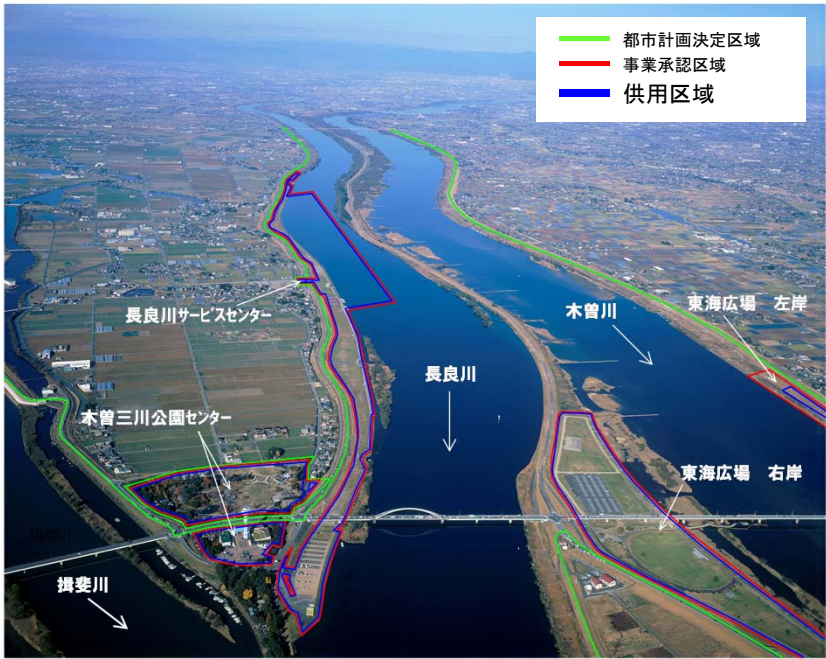
広大な水面と河川敷を活かした水上スポーツ・レクリエーションの拠点として整備を進め、競技スポーツから障がい者スポーツまで、様々な層の利用者に親しまれるとともに、指導者育成の拠点としても活用されています。

岐阜県海津市・愛知県愛西市
事業着手年度：昭和55年度 事業承認面積：88.8ha
供用開始年月：平成12年10月（平成14年4月水面、昭和62年10月高水敷）
供用面積：88.8ha（水面59.4ha 高水敷28.32ha）

整備・管理運営方針：
（管理運営）○2020年東京五輪の事前キャンプ地や、2026年アジア競技大会の誘致も視野に水辺を活かしたスポーツ・レクリエーション拠点として一層の利用促進を図ります。

管理運営：

- 競技団体や大学等との連携の強化による水面利用プログラム、障がい者スポーツ・レクリエーションや競技大会等の充実
- 競技団体や大学などによる施設の計画的な活用による公園全体の利用促進



■主な供用施設



サンドコート



テニスコート



レガッタコース



水面を利用した競技大会や体験活動



障害者スポーツ



各種スポーツの競技大会の誘致

事業効果：○水面や長大な河川敷を利用した多様なスポーツ、レクリエーションが楽しめる機会が充実するとともに、地域活性化に貢献します。

[中央水郷地区] **アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道**

【方 針】

整 備：パークセンター内未供用エリアの追加開園をめざします。
管理運営：水郷景観（堀田）を活かした環境学習や歴史学習の充実を図ります。

岐阜県海津市 アクアワールド水郷パークセンター
事業着手年度：平成2年度 事業承認面積：8.1ha
供用開始年月：平成4年4月 供用面積：8.1ha
岐阜県海津市 大江緑道
事業着手年度：未着手 事業承認面積：30.5ha

『水郷の自然と風景』 水郷地帯の趣を残す大江川の景観と水辺の自然とのふれあい、環境学習の推進

アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道は、市民団体やNPO等とパートナーシップを結び、環境学習や文化活動など幅広い市民活動の場として利用されています。



■主な供用施設



風車



パークセンターホール



パークパートナー棟

整備・管理運営方針：
(整備) ○パークセンター内の未供用エリアの追加開園をめざします。
(管理運営) ○水郷景観（堀田）を活かした環境学習や歴史学習の充実を図ります。

整 備：
○水郷地帯の文化の継承につながる堀田の整備と追加開園
○水郷景観と拠点間を結ぶ大江緑道の整備に向けた検討



堀田の整備イメージ

管理運営：
○水生生物の保全等に関する環境学習の提供
○堀田を活かした環境学習、歴史学習の充実
○地域の活性化（地場製品の振興）への寄与



まます調査団



水郷倶楽部



海津アクアマルシェ

事業効果：○輪中地域の歴史・文化を保全・再生し、地域の風土を将来の世代が継承できます。
○水生生物などに着目したプログラムなど環境学習活動が充実します。

[中央水郷地区]木曽三川公園センター

【方針】

整備：水と緑の館の耐震化や展示施設のリニューアルに向けた検討を進めます。

管理運営：輪中の歴史文化に関する学習プログラムや周辺施設と連携したイベントの充実を図ります。

岐阜県海津市

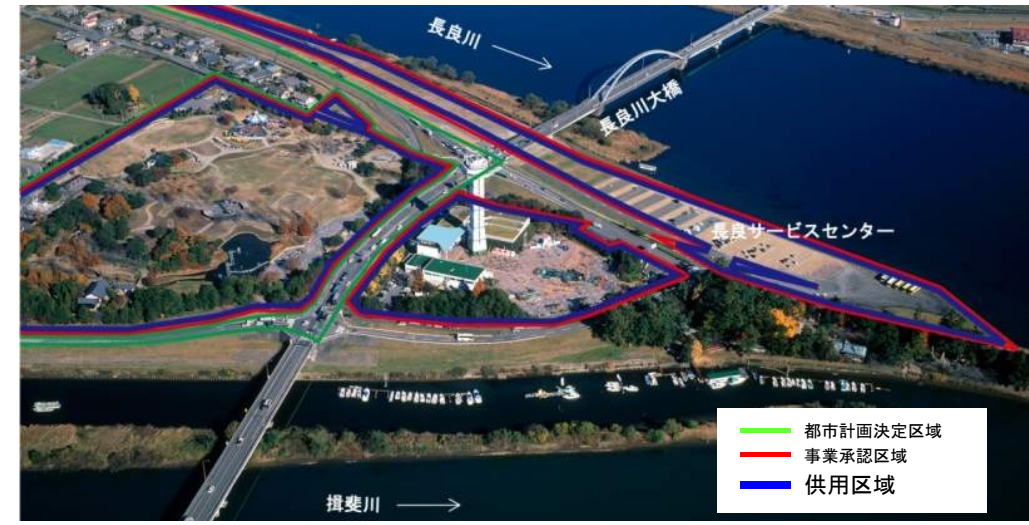
事業着手年度：昭和55年度 事業承認面積：12.3ha

供用開始年月：昭和62年10月 供用面積：11.0ha

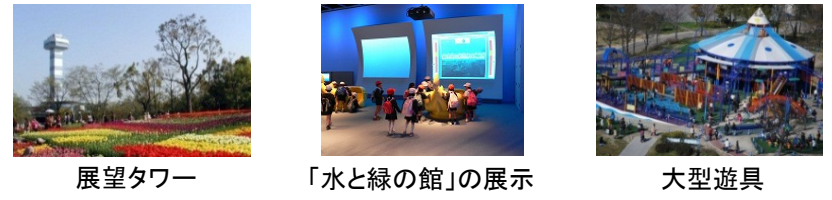
『中央水郷地区の総合拠点』 中央水郷地区の自然、歴史文化、交流

中央水郷地区の自然や歴史文化を幅広く紹介・情報発信するとともに、多くの人々が集い、交流する総合拠点として位置づけています。展望タワーから木曽三川の雄大な流れや輪中地域独特の地形を眺望できるほか、「水と緑の館」では映像などで木曽三川にまつわる歴史文化等をわかりやすく紹介しています。

また、年間を通じて花のイベントやイルミネーションなど、様々なイベントを開催しています。



■主な供用施設



事業効果：○防災機能が向上します。 ○自然環境や歴史文化への理解が増進します。 ○地域と連携したイベントにより地域活性化に貢献します。

整備・管理運営方針：

(整備) ○水と緑の館の安全性と魅力の向上を図るため、耐震化や展示施設のリニューアルに向けた検討を進めます。

(管理運営) ○輪中の歴史文化に関する学習プログラムや周辺施設と連携したイベントの充実を図ります。

整備：

○水と緑の館の耐震化と展示施設のリニューアルに向けた検討



展示施設

管理運営：

○輪中の歴史文化に関する学習プログラムの活用（「輪中の暮らし調査指令！」など）



輪中の歴史文化に関する学習

○自治体や近接施設との連携によるイベントの開催
(チューリップ祭等)



イルミネーション

自治体との連携によるイベント運営
(チューリップ祭りでのシャトルバス運営)

[中央水郷地区] 東海広場・鵜戸川

【方針】

整備：一部区域の追加開園をめざします。
管理運営：多目的に利用できる水辺空間のさらなる利用促進を図ります。

愛知県愛西市	東海広場	
事業着手年度	平成元年度	事業承認面積：24.3ha
供用開始年月	平成2年4月	供用面積：20.1ha
愛知県愛西市	鵜戸川	
事業着手年度	未着手	事業承認面積：13.8ha

『水辺の自然と広大な空間』
水辺の自然に親しみ、広々とした空間の中で集う
水辺の自然に親しみ、広大な水辺の空間の中で各種スポーツやイベント、
デイキャンプなど様々な屋外レクリエーションを楽しむことができるエリアとし
て整備を進めています。



■主な供用施設



一万人広場(右岸)



サッカーグラウンド(左岸)



デイキャンプ場・バーベ
キュー広場(左岸)

整備・管理運営方針：
(整備) ○生涯スポーツであるパークゴルフコースの拡充により、一部
区域の追加開園を目指します。
○ファミリーで楽しめるデイキャンプサイトの拡充に向けて検
討を進めます。
(管理運営) ○多目的に利用できる水辺空間のさらなる利用促進を図ります。

整備：
○生涯スポーツのパークゴルフコースの拡充
ファミリーで楽しめるデイキャンプサイトの拡充に向けての検討



パークゴルフ



デイキャンプ場

管理運営：
○多目的に利用できる水辺空間のさらなる利用促進



バーベキュー広場(右岸)



リレーマラソン



ドッグラン

事業効果：○広大な河川空間を活かした特色あるスポーツやレクリエーションをより多くの方々に楽しんでもらう、地域活性化に貢献します。

[中央水郷地区] 船頭平河川公園

【方 針】

管理運営：ハス田修景池の適切な保全と広報、及び周辺の公園や観光資源との連携、環境学習による利用促進を図ります。

愛知県愛西市
事業着手年度：平成12年度 事業承認面積：4.8ha
供用開始年月：平成14年4月 供用面積：2.7ha

『木曽三川の水生植物』 ～花蓮を中心とした美しい憩いの場
水に囲まれた立地を活かし、ハスをはじめカキツバタ、ポンテデリア、スイレンなど様々な花がみられる美しい憩いの場として整備しています。



■ 主な供用施設



ハス田



整備・管理運営方針：
(管理運営) ○ハス田修景池の適切な保全と広報、及び周辺の公園や観光資源との連携、環境学習等による利用促進を図ります。

- 管理運営：
- 修景池の適切な保全
 - 広報活動による利用促進
 - 周辺のハスの名所、木曽川文庫、船頭平閘門などとの連携
 - 環境学習等による利用促進



修景池の適切な保全



広報活動による利用促進



環境学習等による利用促進

周辺施設



船頭平閘門



木曽川文庫

事業効果：○水生植物による良好な景観を維持・保全できます。 ○周辺の公園や観光資源との連携により、地域活性化に貢献します。

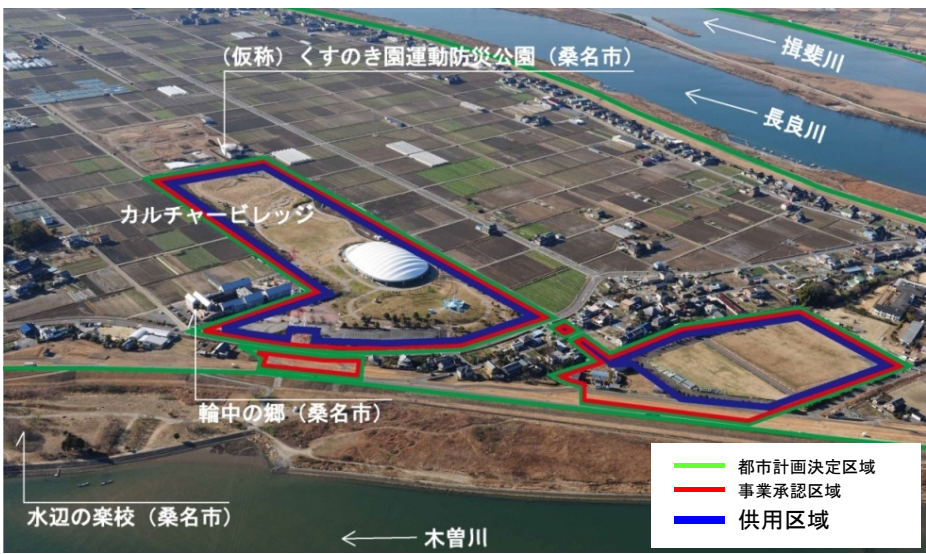
[中央水郷地区]カルチャービレッジ

【方 針】

管理運営：輪中の郷など周辺施設と連携したイベントの充実を図ります。

三重県桑名市
事業着手年度：平成3年度 事業承認面積：16.3ha
供用開始年月：平成8年5月 供用面積：14.2ha

『多様な文化活動を通した広域交流』
～文化活動やスポーツなど多様な活動を通したにぎわいの創出
スポーツや文化交流など多様な活動を通じて多くの人々が集い、にぎわいを創出する地域交流の拠点となることをめざし、「輪中ドーム」を活用した大規模な地域イベントや近接施設との連携に取り組んでいます。



■主な供用施設



多目的運動場「輪中ドーム」



大型遊具



霧の輪中

整備・管理運営方針：
(管理運営) ○輪中の郷など周辺施設と連携したイベントの充実を図ります。

管理運営：
○「輪中の郷」（桑名市）との連携による地域活性化イベントの開催（地場製品の振興）



桑名うまいもんまつり



地域連携イベント(水郷フェスタ)

○「輪中の郷」や「水辺の楽校」（桑名市）など周辺施設との一体利用による体験学習の展開

周辺施設

輪中の郷

体験学習

事業効果：○周辺施設との連携により歴史・文化・自然の学習機会が充実し、自然環境や歴史文化への理解が増進します。

(3) 河口地区

河口地区は、尾張大橋より南の木曾川下流域、伊勢大橋より南の長良川・揖斐川の下流域を予定区域としています。河口地区の一部である「桑名七里の渡し公園」9.6haが平成19年8月に都市計画決定され、平成20年度に事業着手し、平成27年度に住吉地区の一部が開園しました。

この地区では、広大な水面とヨシ原、干潟など汽水域の自然環境がみられます。また、七里の渡跡の周辺には水運基地として栄えた桑名の歴史を物語る文化財群がみられるほか、多くの地域が干拓によって形成されてきたことも特徴です。

取り組み方針(国営木曾三川公園基本計画(平成20年12月改定))

<自然環境>

雄大な景観や恵み豊かな川と海へのふれあいを通じた川や海への理解

<歴史文化>

川と海を結ぶ水運基地や干拓などにより形成された地域の歴史の理解

<広域貢献>

地域のまちづくりや市民・企業などとの連携

- ①歴史遺産を活かしながら地区のまちづくりと一体となった公園として、桑名七里の渡し公園の整備を進めます。
- ②今後、社会情勢や地域状況の変化等を踏まえながら、引き続き、木曾川や揖斐川河口における拠点である河口地区センター等の整備の考え方等の見直し、河口地区の新たな区域や拠点の役割、配置等を検討します。



〔河口地区〕 桑名七里の渡し公園

【方 針】

整備：住吉地区の追加開園をめざすとともに、七里の渡し地区の整備に向けた検討を進めます。

管理運営：市民活動やNPOとの協働により、周辺まちづくりと連携した伝統文化の継承と利用促進を進めます。

三重県桑名市
事業着手年度：平成20年度 事業承認面積：9.6ha
供用開始年月：平成27年11月 供用面積：0.8ha

『木曾三川を軸とした交流と繁栄の歴史』
～川やまちと一体となった歴史公園～

桑名七里の渡し公園は、川とまちを結び木曾三川を中心とした人や物の交流が生まれ、文化を育み、地域の繁栄につながった歴史を紹介する場として整備を進めています。住吉地区の一部を平成27年度に開園しました。

整備・管理運営方針：

（整備）○整備を継続し、住吉地区の追加開園をめざすとともに、七里の渡し地区の整備に向けた検討を進めます。

（管理運営）○市民活動やNPOとの協働により、周辺まちづくりと連携した伝統文化の継承と利用促進を進めます。



主な周辺施設



諸戸氏庭園



六華苑(旧諸戸家住宅)



七里の渡跡

整備：

- 住吉地区の追加開園をめざします
- 七里の渡し地区の整備に向けた検討を進めます



整備された住吉地区



七里の渡し地区
(イメージ)

管理運営：

- 市民活動やNPOとの協働により、周辺まちづくりと連携した伝統文化の継承と利用促進を進めます



石取祭



事業効果：○川沿いに集積する（九華公園（桑名城跡）、七里の渡など）歴史遺産を結び、観光振興やにぎわい創出に貢献します。

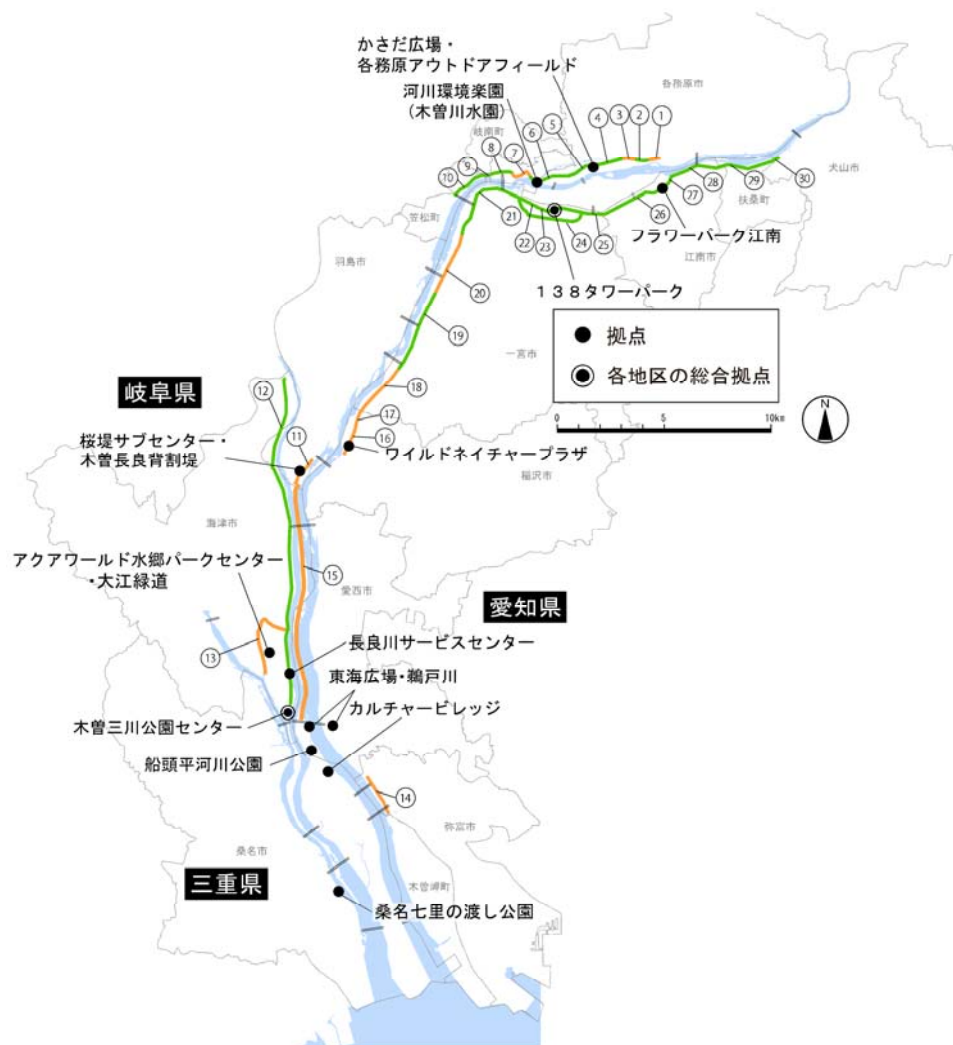
○地域の伝統文化を将来の世代が継承できます。

5. ネットワーク形成のための整備・管理運営方針

①遊歩道・サイクリングロードのネットワーク化

木曽三川の広大な空間をいかすとともに、健康づくりを支援するレクリエーションとしても遊歩道・サイクリングロードは重要な役割があるため、河川管理者や周辺自治体との連携のもと、三派川地区のネットワーク拡充と有効活用、中央水郷地区においてはネットワーク整備の事業化の取り組みを進めます。

また、利用促進のための施設配置や利用情報及び利用者の安全確保についても河川管理者や周辺自治体と連携して取り組みます。



②周辺地域との連携など広域的な利用の促進

周辺の公園緑地や歴史文化資源を広域的にめぐり、木曽三川の雄大な景観や豊かな自然環境、歴史文化を楽しんでいただけるよう、インバウンドの促進にも配慮しながら、周辺自治体と連携してマップ作成等の情報提供や、イベントの実施など利用促進に取り組みます。

また、カヌーイベントの開催など、河川水面を活かした広域的な利用ネットワークの形成に取り組みます。

このほか、公園へのアクセス向上、交通渋滞の緩和や駐車場の確保などの課題は、関係機関と連携しながら、周辺のまちづくりと一体となって取り組みます。

③エコロジカルネットワークとしての魅力や意義の発信

木曽三川は濃尾平野のほぼ中央を貫き、中部圏の骨格的なエコロジカル・ネットワークとして重要な役割を果たしています。

自然環境の連続性を確保した整備に努め、木曽三川のもつ自然環境や風土の魅力を発信することで、水と緑のエコロジカルネットワーク形成の意義を広めていきます。



④流域の一体感の醸成

木曽三川流域全体の自然環境を基礎とした歴史や地域文化、地域資源のつながりを意識した管理運営を進めます。

流域ぐるみのイベントの拡充、拠点連携イベントや流域文化の発信などの取り組みを進め、流域の一体感の醸成に取り組みます。

⑤広域防災への寄与

河川管理者等の関係機関と連携して広域的な防災機能を発揮できるように、大規模災害時における長大な空間や公園施設等の活用方法の検討を進めていきます。



6. 事業効果

(1) 過年度事業におけるストック効果

①地域の観光振興への波及効果

チューリップ祭り（木曽三川公園センター・H28実績約19万人）、サマーフェスタ（138タワーパーク・H28実績約19万人）、稲沢サンドフェスタ（ワイルドネイチャープラザ・H28実績約3.5万人）など、地域との共催による多くの開催の場として活用されています。また海津マルシェ、桑名水郷舟めぐりなど、地元地域の歴史・文化や産業と結びついたイベントの開催によりにぎわいを創出しています。これらにより、地域における広域レクリエーション、観光・周遊ネットワークの活性化に寄与し、地域の観光振興への波及効果を生んでいます。



かわしま燦々夏まつり 約12,800人
/H28. 7(河川環境楽園:各務原市)



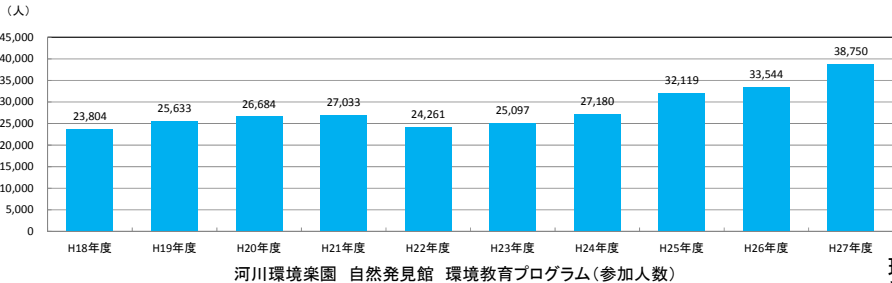
桑名水郷舟めぐり 約6,700人
/H28. 4(桑名七里の渡し公園:桑名市)



海津アクアマルシェ 約4,000人/H28. 10
(アクアワールド水郷パークセンター:海津市)

②エコロジカルネットワークの形成と環境保全意識醸成への効果

河川ならではの自然環境の連続性確保に配慮した公園整備により、広域的な水と緑のエコロジカルネットワーク形成に貢献するとともに、こうした環境を活かした環境教育プログラムを開催することで、人々の自然環境保全意識を醸成する効果を生んでいます。



環境教育プログラムの実施(絶滅危惧種を知ろう～ハリヨを例に～河川環境楽園)

③地域における防災・減災への貢献

本公園は周辺自治体の地域防災計画において、広域避難地や一次避難地に指定されているとともに、防災訓練に利用され、地域の防災・減災に貢献しています。

自治体の地域防災計画における国営木曽三川公園の位置づけ

地区名	拠点名	自治体名	地域防災計画名	国営木曽三川公園の位置づけ
三派川地区	フラワーパーク江南	江南市	江南市地域防災計画	広域避難地
	138タワーパーク	一宮市	一宮市地域防災計画	広域避難地
中央水郷地区	長良川サービスセンター	海津市	海津市地域防災計画	一次避難地
	アクアワールド水郷パークセンター	海津市	海津市地域防災計画	一次避難地
	木曽三川公園センター	海津市	海津市地域防災計画	一次避難地
	カルチャービレッジ	桑名市	桑名市地域防災計画	一次避難地



公園を利用した防災訓練
約800名/H28. 6(東海広場:愛西市)



公園を利用した防災訓練 約300名/H28. 5
(桜堤サブセンター:羽島市)

(2) 今後5年間の事業による効果

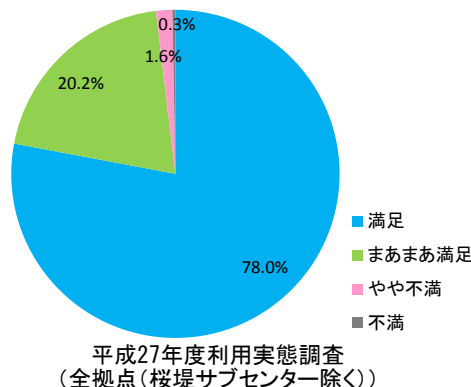
平成32年度までの間に本プログラムの施策を実施することで、次のような事業効果が見込まれ、ストック効果をより一層高めます。

①利用者数の増加

未供用区域の開園、環境学習やイベントの充実などにより公園の魅力が向上し、入園者数の増加が期待されます。また入園者数の増加は、アクセスルート上にある周辺観光施設の利用活性化に波及効果をもたらします。

②満足度の向上

川を身近に感じられる空間や安心して利用できる施設を整備するとともに、市民やNPO、ボランティアの方々と協働して質の高いサービスを提供することにより、利用者の満足度や公園への愛着が高まります。利用者へのアンケート調査では、およそ98%の方から「非常に満足」または「まあまあ満足」との評価をいただいています。今後もさらなる満足度の向上をめざします。



③地域の活性化(地域振興・貢献等)

1) 地域の活性化

地域と連携してイベントを行ったり、周辺の公園緑地や集客施設との一体的な利用を促すような施設整備やイベント開催、情報発信等を行うことにより、地域の観光振興やにぎわいの創出に貢献できます。



ハンドメイド市

2) 河川空間を活かしたレクリエーションの充実

多目的に利用できる広場やデイキャンプ場などを整備したり、競技団体等と連携しながらイベントの充実を図ることにより、広大な河川空間を活かした特色あるスポーツやレクリエーションをより多くの方々に楽しんでもいただけるようになります。



カヌー体験

3) ユニバーサルデザインの推進

園内のより高い水準のユニバーサルデザイン化を進めることにより、障がいのある方も楽しめるレクリエーションや交流の場の提供が促進されます。



車いすテニス

④環境保全

1) 水辺環境や生物の生息・生育環境の保全

ワンド、ヨシ原、水辺林や樹林地などの保全を行うことにより、河川らしい水辺景観や生物の生息・生育環境が保全されます。



多様な河川環境の活用・保全

2) 自然環境や歴史文化への理解の促進

人と川とのふれあいの空間や歴史文化に関する展示学習施設を整備するとともに、質の高い環境教育プログラムを提供することにより、より多くの方々に木曽三川の自然環境や歴史文化を知っていただけます。



歴史文化を活用した環境学習

3) 環境負荷の低減

維持管理作業により発生する剪定枝や刈草の堆肥化や雨水利用を行うことにより、公園管理に伴う環境負荷が軽減されます。



堆肥化施設

⑤防災

避難地や防災拠点の機能を持った施設整備及び耐震化により周辺地域の防災・減災に貢献します。



広域防災(広域支援基地設置訓練)